

# FUEL SUPPLY CENTER AREA

給油センター地区



給油センター地区は、一時的に燃料を貯蔵する地域で、給油施設全体の状態を集中制御できる制御室も、この地区内に設けられています。

受入配管から届いた燃料はストレーナーやフィルターセパレーターでろ過された後、貯油タンクにいったん貯蔵されます。そして品質を確認された後、ハイドラントポンプでエプロン地区に送られます。

貯油タンク



全溶接鋼製の円筒型固定屋根付き浮き屋根式タンク。内径約29.5m、高さ約20.1mで1基の容量は12,130KL、タンクローリー約600台分に相当します。

濾過装置



燃料に混入した水分やきょう雑物はストレーナーとフィルターセパレーターで取り除きます。この除去装置は貯油タンクへの受入、さらにエプロン地区への払出ポイントに設置されています。

エプロン地区への燃料給油は、複数の航空機に短時間で安全に給油できる、ハイドラントシステムが採用されています。